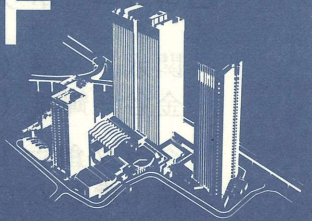


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH WEEKLY REPORT



東京新南ロータリークラブ週報

October 9, 1987 No. 50

今年度のターゲット (チャールズ C. ケラー)

ロータリアン--奉仕に結束--平和に献身

ROTARIANS--UNITED IN SERVICE-DEDICATED TO PEACE

○ 本日の予定

昭和62年10月 9日 (第52回)

卓 話 『職業奉仕月間にちなんで』/漆崎 義雄氏
(地区職業奉仕委員長・目黒RC)

◎先週報告 昭和62年10月 2日 (第51回)

卓 話: 田辺前会長/『クラブ創立1周年記念にあたって』

司 会: 田島 一郎 会 長

♪ ロータリーソング: 君が代 奉仕の理想 ソングリーダー: 山下 忠治君

ニコニコBOX 紹介: 安森 登君 来客紹介: 宮本 正祥君

出席状況	会 員	41 名中	出席	33名	欠席	8名
	来 客	9 名		(都内 7名 地方 2名)		

黒川特別代表にご出席頂き、1周年記念のご祝辞を頂戴しました 又特別代表の音頭により「乾杯」いたしました

○会長報告 ガバナー公式訪問について (次頁参照)

○幹事報告 第275 地区千代田・京浜・山の手分区合同ゼネラルフォーラム へのご出席のお願い (11月15日木)

○親睦活動委員会報告 田中 武君 (ゴルフ同好会世話人) より 第 5 回 ゴルフ同好会開催の件 (11月 5日木・小金井CC)

バナー交換がありました Rotary Club of South Calcutta/Mr.Ghosh B.N.

慶事披露

出席委員会より年間 (通算) 100%出席者に記念品の贈呈

(敬称略・数字は回数)	沖 宏之	11	勝山英司	6	青野信次	1
87~88年度	馬場一廣	1	入沢頼二	1	岩上好範	1
	丸山忠典	1	村川 優	1	田中 武	1
					吉田用親	1

□ニコニコボックス (10/ 2 順不同・敬称略)



関水 誠 (東京南RC) しばらくごぶさたしましたので
金谷 輝雄 (〃 RC) 1周年おめでとうございます

クラブ創立1周年を迎えて/記念して/1周年おめでとうございます/祝して
満1歳おめでとう/おめでとうございます等

田辺 賢三 田島 一郎 川鍋 達朗 村川 優 佐藤 定宏
沖 宏之 青野 信次 入沢 頼二 宮本 正祥 保森 登

吉田 用親 3日程旅行しましたが、お陰様で無事帰れました
村上 満 ホームロータリーの出席率が悪く申し訳ありません

本日の合計 14件 54,000円

それぞれ、多額のご寄附を頂きました 有り難うございます。

○Visitors 静岡-浜松RC 中村 藤吉・大木 幸雄
東京-銀座RC 高柳 仁 東京-新橋RC 玉林 三郎
東京-芝 RC 高原慶一郎
東京-南 RC 金谷 輝雄・鈴木 治己・関水 誠・神通 豊

62年10月理事会議事録 日 時: 10月2日(金) 例会後13:40 ~ 15:00
場 所: 全日空ホテル 役員応接室 610号
出席者: 田島会長 村川会長エレクト 中野・沖・斉藤・佐藤・田辺理事
川鍋幹事 保科SAA

<決議事項>

- ① 会員増強の件 新会員候補者1名受付を承認 笹倉 誠氏(日本パワフル社長)
新会員候補者1名は、既に職業分類(料理店)が充填されているので保留する
- ② 次年度理事候補者指名の件
岩上好範君 河原勢自君 村川 優君 沖 宏之君
佐藤定宏君 佐藤幸雄君 渡邊 治君
以上7名を次年度理事候補者として指名した
- ③ ガバナー公式訪問の件
フォーラムの時間割り振りは、フォーラムリーダーの佐藤クラブ奉仕委員長と田辺
会員増強・会員選考委員長、勝山職業分類委員長、中野インフォメーション委員長
に一任する

<報告事項>

- ① 沖社会奉仕委員長
チャリティーコンサート純益寄贈の件 沖社会委員長が寄贈先を慎重に調査する
また、今回の問題点を社会奉仕委員会で検討する 尚、次年度実施するか否かは
本年度中に決定する
- ② 斉藤クラブ奉仕委員長
「週報」の印刷を印刷所に依頼する件 1月より新スタイル原案製作の為、特別
委員会(委員: 斉藤・中野・武下・次期クラブ会報委員長)を設置し1月より新ス
タイルに移行できる様準備する
- ③ 中野親睦活動委員長
忘年家族会の件 伊藤京子氏に出演を了承 詳細は親睦活動委員会で検討する
- ④ 保科SAA
例会場に「役員席」「SAA席」を設置する(10月23日より実施)
演台の処に、「お立ち台」を用意する 以上

- ①地区ガバナーはガバナー就任前、ガバナーノミニーとして国際協議会で研修を受け、その後国際大会でガバナーに選任され、国際ロータリーの役員となる。個々のロータリークラブと国際ロータリーとの接点の役割を果たす事となる。ガバナーが担当地区内の全クラブを公式訪問するのは、その任務の一つであって、その目的は

- a. クラブの管理運営および奉仕目標の達成を援助する
- b. R.I.の新方針をクラブに伝える
- c. 逆にクラブの現状をよく知ってR.I.に報告する

などである。

②公式訪問のスケジュール

9:30 ～ 10:20 (白鷺の間)	ガバナー 西川正次郎 (築地RC)
会長・幹事との懇談	千代田分区代理 相原正一郎 (日本橋東RC)
-----	-----
10:30 ～ 12:00 (瑞雲の間)	上記の外
クラブ協議会	地区幹事 丸山 宏 (銀座RC)
役員・理事・委員長を中心	分区代理 森下啓之助 (日本橋東RC)
として行われるが一人でも	
多くの会員が出席する	
-----	-----
12:30 ～ 13:30 (八雲の間)	同 上
例 会	

- ③クラブ協議会では、クラブ活動計画の中でもっとも重要と思われる項目として「会員増強並びに付帯する諸問題について」

を選定し、佐藤定宏クラブ奉仕委員長をフォーラムリーダーとして、会員増強、会員選考、職業分類、ロータリー情報を中心に、フォーラム形式に討議が行われる予定である。

一人でも多くの会員が出席され、討議に参加される事を期待したい。

- ④例会では西川正次郎ガバナーの卓話は主にR I 会長のテーマや方針の解説さらにガバナーの新年度に臨む考え方などについて、言及される予定である。

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 実業および専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



25名のチャーターメンバーをもって、この全日空ホテルでわが東京新南ロータリークラブの創立総会を挙行了したのは、ついこの間の事の様な気が致しますが、早や満一年を経過し、本日総勢41名をもって当クラブ最初の Anniversaryを迎えましたことを会員の皆様と共に慶びたいと思います。私は当クラブの設立に最初から関わって参りましたので、この機会に当クラブ設立までの経緯について、かいつまんでお話申し上げたいと思います。始めにその前提としてクラブの区域限界-テリトリー-の変換についてふれてみましょう。

東京で唯一のロータリークラブであった東京ロータリークラブが、南クラブと北クラブを設立したのは昭和25年のことですが、そのとき南クラブが東京クラブから割譲を受けたテリトリーは、港・新宿・品川・目黒・大田・世田谷・渋谷・中野・杉並・練馬の計10区にのぼる広大な区域でありました。処が南クラブは、5年後の昭和30年に西クラブを設立してこれに渋谷・世田谷・品川・目黒・大田の5区を割譲し、更に2年後の昭和32年には西北クラブを設立して、これに新宿・練馬・中野・杉並の4区を割譲しましたので、南クラブのテリトリーは港区だけになってしまいました。10区を南クラブに割譲した東京クラブも気前がよいが、貰った10区のうち 9区を忽ち子クラブに割譲した南クラブも大変気前がよいことでありました。そして南クラブは更に昭和43年には港区内の芝地区を割譲して芝クラブを設立しましたので南クラブのテリトリーは更に小さくなりました。

R.I.では創立以来1区域1クラブの基本原則を守って来ましたが、R.I.の発展と拡大に伴いテリトリーの細分化が進んで参りましたので、過度の細分化を避けるために、昭和49年に区域の共有-所謂2階建-を認めることと致しました。爾来、世界的にも国内的にも、区域共有による新クラブが増えて参りました。南クラブは私の会長就任当時、会員数 210名を超え、クラブの適正サイズの限度だとの声がありましたが、南の会員はテリトリーのこれ以上の分割にはみな反対であり、さりとて共有制に対しても消極的な態度でありました。そこに新橋地区の中から新クラブ設立の具体的な動きが起って参りました。新橋地区は南クラブのテリトリーでありますので、南クラブは勿論スポンサークラブになりましたが、テリトリーについてはクラブ内で相談の結果、新橋・東新橋・西新橋地区を新橋クラブに割譲することを決定いたしました。その折、南クラブの長老の一人から「南クラブも将来のために自分の手で新クラブを2階建方式でつくることを考えてみたらどうか」とのご意見が出されました。これが当クラブ設立のきっかけとなったのであります。

私は、このご意見を大変適切なご意見と思い心に留めて暫く区域内の様子を見ておりました処、この赤坂六本木再開発工事の進捗が注目を浴びるようになって参りました。昭和61年夏に完工するこの新しい近代的環境都市アークヒルズは新クラブ設立の格好の候補地ではないだろうか。その可能性を検討するための私の南クラブ会長任期の最後の理事会において、アディショナルクラブ検討委員会の設置を決定し、その委員長を次年度の拡大委員長の松島さんをお願いしましたが、私自身も委員の一人に指名される結果となりました。検討委員会はやがて検討の結果を理事会に答申しました。それは、赤坂六本木再開発地区を本拠とする南クラブの分身的クラブを二階建て方式で設立すべしと云うものでした。南クラブの理事会はこれを受けて、いよいよアディショナルクラブ設立準備委員会の設置を決定し、その委員長に私が任命されてしまったわけです。行きがかり上、もう引くに引けず、私は佐藤定宏さん、中野さんほか数名の方々に委員をお願いして、設立準備委を発足させました。一昨年12月のことであります。

私は、南クラブの伝統と気風を受け継ぐ分身的クラブを作ろうとするのならば、南クラブから何名かの会員が移籍して新クラブの基礎づくりを行うべきではないかと考えました。そうであれば設立準備委員長である自分が先ずその一人になろうと考え、設立する新クラブへの移籍を決意したのであります。やがて私と行動を共にしてやろうと云う有志の方々が次々に現われ、私を含めて7名の南クラブ会員が新クラブに移籍することになりました。このようなことは南クラブ創立以来初めての異例なことで、新クラブ設立に対する南クラブの熱意を示すものであります。特別代表には南クラブ唯一人の現存チャーターメンバーで赤坂地区の大胆那であられる黒川光朝さんをお願いしました。クラブの名称については東京新南クラブのほか、赤坂クラブ、第二南クラブ、南中央クラブ等の多くの案の中から、新南クラブと内定しました。南クラブの開設準備委員会は昨年6月末をもって任務を終え、7月からは新クラブのキーメンバーによる結成委員会に移行いたしました。キーメンバーは、南クラブより移籍の7名に村川さん、斉藤さんを加えた9名であります。爾来キーメンバーは毎週この全日空ホテルに会合して準備を進める一方、南クラブ会員その他の方々のご推薦による新会員を決めて行き、総勢25名のチャーターメンバーをもって、昨年10月3日創立総会を行ったのであります。

25名と云うチャーターメンバーの数は、最近大都市に新設されるどこのクラブよりも大変小人数でありますし、創立一周年における41名も亦、小人数であります。しかし私はこれでよかったと思っています。小人数で出発したればこそ、クラブの基礎づくり、性格づくりが順調に運んできたものと思います。この一年、毎週の例会にチャーターナイトその他の行事の準備や実行に、各委員会活動に現れた会員の皆様の親睦の広がり、積極的な参加と奉仕の熱意を目のあたりにして、私は本当に喜びを禁じ得ません。このような素晴らしいクラブに成長して参りましたのも、偏に初年度から第2年度にわたる理事役員の方々をはじめ、全会員の皆様のご協力とお力添えの賜でありまして、この機会に厚く御礼申し上げます。

今やほぼ定着して参りましたわがクラブの、自由で明るく活力に満ち、そして洗練されたカルチャーを大切に育くみつゝ、当クラブがこれから第2年目そして更に将来に向けて発展をつづけますよう、皆様と共に力を併せて参りたいと思います。

□ R I 情報抄録から (1987年 8月号)

ロータリーは希望をもたらす

その模様を描いている新刊書

ロータリーでは、過去を振り返るために立ちどまることはめったにありません。地域社会や世界で何をしなければならぬか探るため、いつも、前方を見えています。魅力的な新刊書、Horizons of Hope ; Rotary in Action (希望の地平線 ; ロータリーの活躍) は、世界中で行われているロータリー・プロジェクトの勇気づけられるような成果の一部を、立ちどまって、眺める機会を与えてくれます。この書籍でスポットライトを当てた多くの人道的プロジェクトに共通しているのは、将来に希望をもてない人々の生活にロータリーが変化をもたらしたことです。英雄的なプロジェクトもあるし、控え目なプロジェクトもあります。取るに足りないプロジェクトなんてありません。175ページの書籍で、カラー写真や白黒写真が多数載っています。中央事務局に注文して下さい。1部、米貨14ドル50セントで、英語版のみです。

職業奉仕とは何か？

職業奉仕は、職業分類保持者ひとりひとりの義務であり、ロータリアンは、実業および専門職業関係においてあらゆる奉仕の理想を分かち合わなければなりません。雇主-従業員関係、四つのテストの実践、職業情報の提供、実業および専門職業関係において職業奉仕の機会があります。職業奉仕月間である10月中、何か特別なことをして、職業奉仕の義務を遂行しなければなりません。

商取引にポール・ハリスの精神を

商慣行は、特に著しく変化を遂げました。ロータリーの影響が強く感じられるのは、この点です。昔は、商人は、一つのことしか考えませんでした。それは、どのようにして金をもうけるか、ということでした。今は…顧客、従業員、同業者、仕入先、一般の人々に対しても協調していかなければなりません…商売の有益性を問う時代になったのであり、同時に、商売は、この期待に応えるものにまでなったのです。

□ 他クラブ例会臨時変更

東京四谷ロータリークラブ

10月29日(木)⇒夜間例会 (18:00)

12月17日(木)⇒家族親睦忘年会 (18:00)

12月24日(木)⇒西北・新宿・四谷3クラブ合同夜間例会 (18:00)

来週の担当は

受付／安藤

来客紹介／小西 三溝

会計／河原 山本

ニコニコボックス／山下 渡邊

リーダー／吉田

○ 次週の子定

昭和62年10月16日(第53回)

聴

卓話『ディスクロージャー制度と会計検査』

保森 登君(監査法人保森会計事務所代表)

会長／田島一郎

副会長／佐藤定宏

幹事／川鍋達朗

会報／斉藤茂之

東京新南ロータリークラブ

事務所：〒107 東京港区赤坂 2-22-19南部坂アネックス 201号

電話：03-505-5976 (ファクシミリは同番で切り替え)